

平成 24 年 1 月 4 日

応用物理学会北海道支部
会員各位

応用物理学会北海道支部講演会のお知らせ

下記講演会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題： 複雑系の統計性 ―社会物理学の確立に向けて―

講師： 松下 貢 氏
(中央大学理工学部 教授)

日時： 平成 24 年 1 月 31 日 (火) 16:30～18:00

場所： 北海道大学大学院工学研究院 (A3-62 室)

主催： 応用物理学会北海道支部

講演の要旨

必ずしも同一ではないものが複雑に絡み合って一つのまとまりをなしている複雑系は、私たちの身体や自然環境、市町村、都道府県や国など、自然や社会に数多くの例がみられる。このような複雑系の第一の特徴は、そのメンバーが何であれ、歴史を背負っていて、変化が乗算過程的なことである。このとき、複雑系の統計性は第一近似的には対数正規分布で特徴付けられる。その具体例を自然科学、社会科学の双方で示す。また、注目する性質の統計性が対数正規分布から外れるには、そのような変更をもたらす特別な理由がなければならない。社会現象の場合、何らかの付加的な社会的メカニズムが働いて対数正規分布から外れることが考えられ、歴史的な通常的发展からのずれ(格差の拡大)を定量的に見分けることができる。このことを踏まえて、学際的な新しい科学としての社会物理学の可能性を議論してみる。

世話人 矢久保 考介

北海道大学大学院工学研究院 応用物理学部門

電話：011-706-6621, E-mail：yakubo@eng.hokudai.ac.jp